| 学校番号 | ３１５ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年生 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 東京書籍「書道Ⅱ」（書Ⅱ　３０１） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰの内容からさらに幅を広げた古典を鑑賞し、特徴を理解させて創作へと発展させる。前半は臨書が中心となり、表現の多様性を知ったうえで書への興味・関心を高め、自身の創作活動へ発展させていく。

２．学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価基準と評価方法）

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容・活動 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4 | 五書体の復習と発展 | 臨書・鑑賞<br>楷・行・草・隷・篆の五書体について復習しながら発展させる | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書道Ⅰの学習を踏まえ、多様な各書体の表現を理解して、色々な表現技法を習得できるよう、主体性をもって取り組んでいる。<br>b:多様な楷書の特徴を理解し、美や | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価票 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5<br><br><br><br>6 | | ・張猛龍碑<br>・薦季直表<br>・集王聖教序<br>・李柏尺牘稿<br>・温泉銘<br>・書譜・十七帖<br>・礼器碑<br>・石鼓文 | ○ | ○ | ○ | ○ | 美を構成する背景を感受しながら、感性や創造性を豊かにし、表現の工夫をしている。<br>c:古典の様々な表現技法を身に付け、自己の表現活動について発展させている。<br>d:古典の比較を通して、さまざまな書体のよさを味わっている。 | |
| 7<br><br><br>8<br><br><br><br>9 | 仮名の学習 | いろは歌<br>・大字かなの技法と表現を学ぶ | ○ | ○ | ○ | ○ | a:仮名の墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。<br>b:一番省略された用筆法や単純化されたひらがなの筆使いについて理解し、表現を工夫している。<br>c:ひらがなの単純化された筆使いを身に付け表現している。<br>d:墨色は黒一色ではなく五彩を表すということを理解し、その良さを味わっている。 | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価票 |
| 10 | 篆刻 | ・氏名の印制作<br>・一年次とは趣向をかえて。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:名前の篆書体を調べることを通じて篆書に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。<br>c:印稿づくりに於いて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表現している。<br>d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、その良さ、美しさを味わっている。 | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価票 |
| 11 | 自由制作 | 漢字又は仮名 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書の美と表現方法について関心をもち表現活動に意欲的に取り組もうとしている<br>b:用筆法・表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | c:筆の特性である弾力と和紙の特性である潤滑を利用し表現している。<br>d:漢字の構造力に興味を持ちその良さや創作の面白さを味わっている。 | |
| 12 | 実用書 | 年賀状の書き方 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:基礎的・実用的な能力を身に付けその向上に努め主体的に表現活動に取り組もうとしている。<br>b:基礎的能力を活かし表現を工夫している。<br>c:一般常識としての技能や基礎的な能力を活かして表現している。<br>d:日常生活における書の効用について理解しその良さを味わっている。 | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価票 |
| 1<br>2<br>3 | 漢字かな交じりの書 | 文章を書く<br>・書道Ⅱで学んできた様々な表現方法と技法をいかしてⅡの集大成となる作品を作る | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書道Ⅱで学習した様々な古典や技法を思い出した上で主体的に自己表現に取り組もうとしている。<br>b:様々な技法を試行錯誤しながら表現を工夫している。<br>c:創造的な書表現をするために効果的な表現の技能を余すところなく表現している。<br>d:書のよさを安心で安全な自己表現の手段とし、その価値を表現し創造的に味わっている。 | 観察<br>提出作品<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価票 |

※ 表中の観点について

a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫　c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。